

■ 掲示板

■ 大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所教員公募

公募人員：准教授 1名（任期なし）

研究分野及び研究内容：放射光科学研究施設では、主に X 線回折・散乱を基にした物質構造解析から対象物質の特徴ある物性発現の機構解明を推進するグループとして構造物性グループが組織されている。本候補者は構造物性グループに所属し、構造物性研究を展開すると同時に、該当ビームライン・実験装置の改善、保守および共同利用研究の推進について中核的役割を担う。また、本候補者は物質構造科学研究所で組織化する予定である構造物性研究センターにも兼務することが望まれる。

提出書類：(1)履歴書、(2)研究歴、(3)着任後の抱負、(4)発表論文リスト、(5)論文別刷（5編以内）、(6)その他の参考資料、(7)本人に関する推薦書または参考意見書

着任時期：採用決定後できるだけ早い時期

公募締切：平成20年7月4日(金)

書類送付先：〒305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構総務部人事労務課任用係

問合せ先：放射光科学第二研究系 若槻社市

TEL：029-864-5631

その他：封筒に「教員公募関係」と朱書きし、郵送の場合は書留とすること

詳細は（<http://www.kek.jp/ja/jobs/index.html> 公募番号：物構研08-2）を参照して下さい。

■ 第10回（2008年度）サー・マーティン・ウッド賞受賞 候補者推薦要項

趣旨：凝縮系科学に係わる若手研究者に対して研究のインセンティブ、モチベーションを与えます。

対象分野：広い意味の凝縮系科学（例：凝縮系物理学、無機・有機固体化学、材料科学、表面・界面科学）

候補者：日本における研究機関で、凝縮系科学における優れた業績をあげた40歳以下（2008年4月1日現在）の若手研究者。国籍は問わない。

賞の内容：受賞は毎年1件ないし2件とし、受賞者には賞状、賞金50万円と英国のいくつかの大学への講演旅行の機会が与えられます。

推薦依頼先：関係専門分野の有識者、関連諸学会

推薦件数：各推薦者（研究室）、推薦団体からそれぞれ一件とします。

推薦方法：所定の推薦用紙に必要な事項をご記入の上、締切期日までに到着するよう下記事務局にお送り下さい。自薦も受け付けております。自薦、他薦共に、候補者の業績内容を最も良く理解していると考えられ、当方より問い合わせ照会のできる2名の方（推薦者以外の方）の氏名、所属、肩書き、連絡先を記入して下さい。

さい。

締切期日：2008年8月1日(金)

選考：サー・マーティン・ウッド賞選考委員会にて審査、選考します。

決定：2008年9月の予定です。

賞の贈呈：2008年11月に英国大使館で行う予定です。

推薦書提出先及び連絡先：

〒135-0047 東京都江東区富岡 2-11-6

オックスフォード・インストルメンツ株式会社内

ミレニアム・サイエンス・フォーラム事務局

TEL：03-5245-3261 FAX：03-5245-4466

E-mail：msf@oxinst.com

<http://www.msforum.jp/>

■ 奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科教員 の公募

職種・募集人員：教授 1名

所属：奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科

公募分野：光ナノサイエンスを含む物質科学の融合研究分野

応募条件：

(1) 博士の学位を有すること。

(2) 物理、化学、生物、電子工学等の分野にとらわれず、広い視野を持ち、将来的には、研究科内だけではなく、バイオサイエンス研究科あるいは情報科学研究科との融合領域の開拓に積極的に取り組めること。

(3) 物質創成科学研究科および本学の大学院生の教育と最先端研究の推進に対し高い意欲を有すること。

(4) 着任時に50才を超えていないことが望ましい。

着任時期：平成21年4月1日

提出書類：(1)履歴書（ホームページからダウンロードした本学指定の用紙を使用、写真貼付）、(2)研究業績の概要説明（A4、2枚以内、2部）、(3)研究業績リスト（原著論文、総説、著書、招待講演、特許、各2部）、(4)過去5年間の獲得研究資金のリスト（代表・分担を明記、2部）、(5)主要な論文等の別刷およびそのアブストラクトの和訳（5編以内、コピー可、各2部）、(6)教育および研究に関する抱負（A4、各2枚以内、2部）、(7)2名の方の推薦書

応募締切：平成20年8月18日(月)（必着）

応募書類の提出・問合せ先：

〒630-0192 奈良県生駒市高山町8916-5

奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科長 垣内喜代三

電子メール：kakiuchi@ms.naist.jp FAX：0743-72-6009

応募書類の封筒には「教員応募関係」と朱書きし、簡易書留として下さい。

その他：応募にあたり、本学ホームページ（<http://www.naist.jp>）の教員公募を参照ください。

■東北大学大学院理学研究科物理学専攻助教公募

募集人員：助教1名

所属講座・グループ：電子物理学講座・物質構造物理グループ
研究および業務内容：中性子散乱およびX線散乱による物性物理学の実験研究。当グループメンバーの岩佐和晃准教授と協力して整備する本研究科中性子散乱装置（日本原子力研究開発機構（茨城県東海村）に設置）に基づいた研究活動を主要とする。また本物理学専攻教員と連携して学部（全学教育を含む）と大学院の教育を担当する。

着任時期：決定後早い時期

任期：なし

応募資格：博士号を有するか、平成20年度内に取得見込みであること。中性子散乱やX線散乱の経験は必ずしも問わない。

選考方法：原則として書類選考によるが、必要な場合に面接を行う。

提出書類：

- (1) 履歴書
- (2) 業績リスト（原著論文・解説等、学会発表）
- (3) 主要論文別刷り（2編以内、コピー可）
- (4) 研究業績の概要（2000字以内）
- (5) 今後の研究計画および教育に対する抱負（2000字以内）
- (6) 推薦状1通
- (7) 意見を伺える方2名の氏名と連絡先（電子メールアドレス、電話番号）

応募締切：2008年9月末日必着

書類送付先：

〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3

東北大学大学院理学研究科物理学専攻 村上洋一

封筒の表に「助教応募書類在中」と明記し、書留で送付のこと。

応募書類は原則として返却しない。

問合せ先：村上洋一

（電話 022-795-6485,

E-mail : murakami@iiyo.phys.tohoku.ac.jp)

岩佐和晃

（電話 022-795-6486, E-mail : iwasa@iiyo.phys.tohoku.ac.jp)

■理化学研究所 播磨研究所 ポスドク研究員募集

—コヒーレント X線回折イメージング研究

理化学研究所播磨研究所のX線自由電子レーザー（XFEL）では、ナノスケール構造やバイオシステム構造のコヒーレントX線回折イメージングについての研究に従事するポスドク研究員を募集します。現在の専門は問いませんが、放射光科学の分野、または以下の分野において経験のある方の応募を歓迎致します（固体物理、光学、生物物理学、タンパク質結晶学）。採用後は、SPring-8、極紫外自由電子レーザー、2010年稼働予定X線自由電子レーザー（XFEL）等を光源として、コヒーレント回折イメージング研究を進めます。

受入機関：独立行政法人 理化学研究所 播磨研究所

Song 独立主幹研究ユニット

（ユニットリーダー：Dr. Changyong Song）

予定人数：若干名

着任時期：応相談

締め切り：ポジションが埋まり次第締切ります。

応募方法：履歴書・研究業績一覧・これまでの研究内容の概要（A4用紙1枚程度）を作成し、songsc@spring8.or.jp まで送付。

期間：年度契約の任期制職員、2013年3月まで更新可能。

給与：経験、能力、実績に基づく。通勤手当、住宅手当、社会保険有り。

日本学生支援機構奨学金免除の対象、科学研究費補助金の申請資格有り。

休日：土・日、祝日、年末年始、理研の創立記念日

問合せ先：

理化学研究所 播磨研究所 放射光科学総合研究センター

〒679-5148 兵庫県佐用郡佐用町光都1丁目1番1号

石川哲也

TEL : 0791-58-2800 FAX : 0791-58-2898

E-mail : songsc@spring8.or.jp

■会告

■日本放射光学会第78回評議員会議事録

日時：2008年4月5日（土） 14:00～16:00

場所：理研東京連絡事務所 会議室

出席者：雨宮慶幸（会長）、朝倉清高、太田俊明、大橋治彦、尾嶋正治、加藤政博、鎌田雅夫、木村真一、小杉信博、佐々木聡、澤博（会計幹事）、繁政英治（渉外幹事）、下村理、寿栄松宏仁、大門寛、高田昌樹、竹田美和、田中均、並河一道（議長）、藤森淳、間瀬一彦、水木純一郎、柳下明、若槻壮市 各評議員、櫻井吉晴（編集幹事）、百生敦（庶務幹事）、山本雅貴（行事幹事）

欠席者：安藤正海、飯田厚夫、大柳宏之、籠島靖、辛埴

事務局：佐藤亜己奈（WORDS）、西野三和子（WORDS）

〈報告事項〉

1. JSR08の報告

山本行事幹事より第21回年会・合同シンポ（JSR08）の参加者数、収支、企画講演などについて報告があった。出席評議員より学会誌 Vol. 21, No. 2 に掲載をした JSR08 企画講演報告について、これに対する客観的な評価が必要なのではないか、今回は企画講演提案者が報告書を執筆したが第3者が執筆するべきではないか等の意見があり、今後プログラム委員会で検討をすることとなった。

また、学生会員発表賞の選考方法について、参加者による投票方式から審査委員による審査方式に変更を検討しているこ

とが報告された。これについては、合同シンポ組織委員会の場で語ることになった。

2. JSR09の準備状況

山本行事幹事より、第22回・年会・合同シンポ（JSR08）について、2009年1月9日-12日に東京大学本郷キャンパスで開催されることが報告された。実行委員長は尾嶋正治氏（東大・連携）、プログラム委員長は柿崎明人氏（東大・物性研）の予定である。

3. 20周年記念式典準備

両宮会長より、20周年記念式典の準備状況について、第3回20周年記念事業企画委員会の報告があった。記念式典およびシンポジウムは2008年1月10日（土）に東京大学安田講堂で開催する。尚、本行事の実行委員長は、年会・合同シンポ実行委員長が予定されている尾嶋正治氏が兼任をする。

4. 編集委員会報告

櫻井編集幹事より、年会プログラムの6号への掲載、会誌の進捗状況、ピームライン光学技術シリーズ単行本化の進捗状況について報告があった。

また、機関リポジトリへの対応方針について説明があり、投稿規程の変更と合わせて次回評議員会で審議事項として提案することが報告された。

5. 平成20年度科学技術分野の文部科学大臣表彰について

放射光学会から推薦をした、難波孝夫氏（神戸大学）、木村真一氏（分子研）の「高輝度赤外放射光の開発と物質科学への利用研究」について、科学技術賞研究部門で受賞が決定したことが報告された。

〈審議事項〉

1. 会員の異動状況

百生庶務幹事より、第78回評議員会以降の入退会申請者が示され、入会：正会員8名（うち学生会員2名）を承認した。退会に関して、退会：正会員16名（うち学生会員13名）、賛助会員：1社、賛助会員口数変更1社（2口から1口に変更）を確認した。2008年4月5日現在の総会員数は1297名（うち学生会員230名）、賛助会員52社（54口）。

2. 2008年度若手WS開催見送り

山本行事幹事より、第5回若手ワークショップを2008年夏に開催予定であったが、設立20周年記念式典に専念をするために、今回は開催を見送りたいとの提案があり、これを承認した。また、次年度に向けて若手育成を目的とした企画を検討中であることが報告された。

3. 次期評議員選挙について

百生庶務幹事より次期評議員選挙スケジュール案について説明があった。また、選挙担当評議員に藤森評議員を選出し、これを承認した。選挙結果については次回評議員会で報告をする。

4. 第13回奨励賞公募について

百生庶務幹事より第13回学会奨励賞の応募要綱について説明があり、承認された。要綱は学会誌 Vol. 21, No. 3 およびホームページに掲載をする。

5. 京大化研の「共同利用・共同研究」化に対する支援依頼

京都大学化学研究所から学会宛に「共同利用・共同研究」化に対する支援依頼があったとの報告があり、この対応について

検討をした。他学会はどのような対応をしたのか、明確な判断基準が必要なのではないかな等の意見があり、しばらく状況を見定めて結論を出すこととした。

6. 主催・共催・協賛・後援等に関する規定(案)

百生庶務幹事より、前回提案のあった主催・共催・協賛・後援等に関する規定の最終案が示され、審議の結果これを承認した。

7. 協賛等について

繁政渉外幹事より本学会に対する協賛依頼等について報告があり、協賛9件、後援1件を承認した。

8. シニア会員（仮称）の検討について

両宮会長より、定年等により現役から離れる会員が学会に引き続き在籍し、本会の活動に積極的に関与していただくためのインセンティブとして、70歳以上の正会員については合同シンポ参加費免除を検討しているとの説明があった。これについて出席評議員より、年齢だけではなく学会の在籍年数も判断基準として必要ではないか、定年等の理由により退会をする正会員がいる一方で大学卒業に伴い退会をする学生会員も多いのではないかな等の意見があり、会員の年齢分布を詳しく調べた上で再検討することとした。

9. 評議員会日程の確認

第79回評議員会 2008年7月12日（土） 14：00-16：00

場所：理研東京連絡事務所 会議室

第80回評議員会 2008年10月25日（土） 14：00-16：00

場所：理研東京連絡事務所 会議室

■会員異動

第78回評議員会（2008年4月5日）で承認

《正会員入会》

白澤 徹郎 東京大学 物性研究所 高橋研究室

片山 真祥 立命館大学 錯体分子化学研究室

清水 繁 日本大学

羽鳥 公一 榑曙プレーキ中央技術研究所

松本 崇博 高輝度光科学研究センター

大和田謙二 日本原子力研究開発機構

以上6名

《学生会員入会》

Kaveenga Rasika Kaswattage

神戸大学 大学院 人間発達環境学研究所

宮崎 秀雄 九州大学大学院

以上2名

《賛助会員口数変更》

日本電気㈱（2口から1口へ変更）

《退会会員》

正会員3名、学生会員13名、賛助会員1社

《会員数》

会員 1297名（内学生 230名） 賛助会員 52社（54口）

■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2008年 6/6	日本真空協会 2008年6月研究例会 世界における新しい大型加速器と真空技術 の課題	機械振興会館	日本真空協会 研究部会 E-mail: ofc-vs@vacuum-jp.org	21・3
8/6-8	第21回 DV-X α 研究会兼第5回 DV-X α 国 際ワークショップ—材料科学および X 線 分光学に関する先端関連実験技術と理論—	兵庫県立大学姫路書写 キャンパス書写記念会 館	DV-X α 研究協会 E-mail: dvxa@eng.u-hyogo.ac.jp	21・2
8/6-8	第11回 XAFS 討論会	イーグレ姫路	日本 XAFS 研究会 E-mail: xafs11@spring8.or.jp	21・3
8/20-23	第48回真空夏季大学	伊豆 網代温泉 松風苑	日本真空協会 E-mail: ofc-vs@vacuum-jp.org	21・2
8/23-31	第21回国際結晶学連合会議 (IUCr2008)	大阪国際会議場	国際結晶学連合, 日本結晶学会, 日本学術会議 E-mail: iucr2008@congre.co.jp	21・1
9/8-12	第14回プラズマ理工学国際会議 (ICPP2008)	福岡国際会議場	プラズマ・核融合学会, 自然科学機構 核融合科学研究所, 九州大学 E-mail: icpp2008@triam.kyushu-u.ac.jp	20・6
9/17-19	日本セラミックス協会秋季シンポジウム特 定セッション「原子レベル構造評価とダイ ナミクス」	北九州国際会議場	日本セラミックス協会 E-mail: yoshiasa@sci.kumamoto-u.ac.jp	21・2
10/15-17	第51回放射線化学討論会	産業技術総合研究所 つくば中央第1事業 所 共用講堂	日本放射線化学会 E-mail: jsrc2008@m.aist.go.jp	21・3
10/18-19	第44回 X 線分析討論会	日本女子大学 新泉山館	日本分析化学会 X 線分析研究懇談会 E-mail: hayashih@fc.jwu.ac.jp	21・3
10/27-30	第21回マイクロプロセス・ナノテクノ ロジー国際会議	JAL リゾートシー ホークホテル福岡	第21回マイクロプロセス・ナノテクノ ロジー国際会議事務局 E-mail: secretariat@imnc.jp	21・2
10/28-31	第4回真空・表面科学アジア・オーストラ リア会議 第49回真空に関する連合講演会 (併催)	くにびきメッセ	日本真空協会 E-mail: yoshio.saito@kek.jp	20・6
11/12-14	第49回高圧討論会概要	姫路市姫路商工会議所	日本高圧力学会 E-mail: kawamura@sci.u-hyogo.ac.jp	21・3
12/9-13	IUMRS アジア国際会議2008	名古屋市国際会議場	日本 MRS E-mail: iumrsica2008@intergroup.co.jp	21・3

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

■日本真空協会 2008年6月研究例会 世界における新しい大型加速器と真空技術の課題

粒子加速器において真空は良質なビームを得るために不可欠な技術です。一般に加速器の真空システムでは、大型で複雑な装置形状や狭い排気スペースなどの限られた設計条件に加え、大電流ビーム、大電力高周波、高放射線場などの過酷な条件下においても、ガス放出や電子放出の抑制に優れた表面や長期間に渡って性能を維持できる装置が求められています。そして、加速器真空技術は「もっと良質なビームを！」という絶え間ない要求に応えるべく進歩を重ね、その成果は多くの場合、加速器以外にも応用されて真空業界の発展に大きく寄与してきました。

このように、加速器真空システムの設計や製作では、常に最先端の真空技術が駆使されています。本研究会では、国内外の最近の加速器プロジェクトで研究開発に携わる方々を講師としてお招きして、幅広い観点から大型加速器における真空技術の現状および将来についてご講演いただきます。加速器に携わっておられる方に限らず、多数のご参加をお待ちしております。

主催: 日本真空協会 研究部会

協賛: 高エネルギー加速器研究機構

日時: 2008年6月6日(金) 10:30-16:45 (受付10:00~)

場所: 機械振興会館 地下3階B3-2号室

東京都港区芝公園 3-5-8

TEL: 03-3431-4395 日本真空協会(直通)

参加費: 日本真空協会会員1,500円 非会員2,500円 学生 無料
(当日会場にてお支払いください)

予稿集: 1,000円

使用言語: 日本語・英語

懇親会: 17:00から同会館にて。参加ご希望の方は受付時に会費3,000円をお支払いください。

問合せ先: 日本真空協会

TEL: 03-3431-4395 FAX: 03-3433-5371

e-mail: ofc-vs@vacuum-jp.org

URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/vs/>

本件担当:

日本真空協会 研究部会(高エネルギー加速器研究機構)

加藤茂樹 谷本育律

■第11回 XAFS 討論会

主催: 日本 XAFS 研究会

共催: 姫路市、財団法人高輝度光科学研究センター(JASRI)

会期: 2008年8月6日(水)~8月8日(金)

会場: イーグレ姫路(姫路市)

内容: X線吸収微細構造(XAFS)および関連現象に関する理論、解析方法、実験技術、基礎及び応用研究

講演申込締切日: 2008年5月31日(土)

予稿原稿締切日: 2008年6月30日(月)

事前参加申込締切日: 2008年7月18日(金)

参加費:

日本 XAFS 研究会会員3,000円(年会費を含む)/非会員3,000円/学生1,000円

懇親会: 2008年8月7日(木)

発表形式:

招待講演3件予定(60分)、口頭講演15分、ポスター講演

発表申込要領:

下記ホームページをご覧ください

<http://support.spring8.or.jp/xafs11/index.html>

連絡先:

財団法人 高輝度光科学研究センター(JASRI)

研究調整部研究業務課

垣口伸二、射延 文

〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都1丁目1番1号

TEL 0791-58-0987 FAX 0791-58-0988

e-mail: xafs11@spring8.or.jp

■第51回放射線化学討論会

主催: 日本放射線化学会

共催: 独立行政法人産業技術総合研究所、社団法人日本化学会、社団法人高分子学会、社団法人日本アイソトープ協会、日本加速器学会、ラドテック研究会

協賛: 社団法人日本物理学会

日時: 2008年10月16日(水)~17日(金)

場所: 産業技術総合研究所 つくば中央第1事業所共用講堂
(茨城県つくば市東1-1-1)

内容:

放射線化学の基礎、応用及び関連分野の研究発表を行います。関連分野には、放射光化学、レーザー化学、プラズマ化学、原子分子衝突、加速器科学、陽電子科学などの学際領域に加えて、ナノテクノロジー、高分子科学、分子科学、デバイス物理などと放射線化学との境界領域を含むものとします。

参加登録費:

一般 4,000円(講演要旨集代を含む)

学生 3,000円(講演要旨集代を含む)

懇親会: 10月16日(木) ホテルグランド東雲にて 会費7,000円
(学生3,000)

発表申込受付期間: 2008年6月16日(月)~8月1日(金)

参加登録事前受付期間: 2008年6月16日(月)~9月27日(金)

討論会開催期間中の参加登録は会場で受け付けます。

詳細 URL: <http://unit.aist.go.jp/riif/qrg/jsrc2008>

問合せ先:

第51回放射線化学討論会実行委員会

E-mail: jsrc2008@m.aist.go.jp

■第44回 X線分析討論会

主催: 日本分析化学会 X線分析研究懇談会

共催: 日本化学会、他

会期: 2008年10月18日(土)~19日(日)

会場: 日本女子大学 新泉山館 1F

(文京区目白台2-8-1、電話: 03-5981-3665、詳細は次のホームページ参照)

<http://www.jwu.ac.jp/map/index.html>

討論主題：

- (1) 「現場」で活きる X 線分析：*in-situ*, *in-vivo*, 顕微 X 線分析など
- (2) マテリアルの X 線分析
- (3) 溶液, 界面, 表面の X 線分析
- (4) X 線要素技術の新展開：X 線源, 光学素子, 検出器など
- (5) その他, X 線を利用した分析一般

講演申込要項：

1. 講演内容は未発表のものに限ります。
2. 依頼講演, 口頭発表, ポスター発表からなります。(口頭発表で申し込まれても, 定数の都合上, ポスター発表に変更していただく場合もありますので, ご了承ください。)
3. 依頼講演は 1 講演 40 分 (討論 5 分を含む), 口頭発表は 1 講演 20 分 (討論 5 分を含む) です。液晶プロジェクタ (Windows パソコンと PowerPoint を用意します) での発表を基本とします。OHP ご希望の方は, 発表当日にご連絡ください。
4. 申込講演の採否及びプログラム編成は実行委員会に一任願います。
5. 講演者は後日参加登録してください。依頼講演者も参加登録料をお支払いいただきます (参加登録料：一般予約 4,500 円, 一般当日 6,000 円, 学生 2,000 円, ミキサー 1,000 円)。

懇親会：10月18日(土) 日本女子大学 新泉山館

講演申込締切日：

7月18日(金)【必着】(学会誌へのプログラム掲載のため厳守)

講演要旨締切日：9月12日(金)【必着】

予約登録締切日：10月8日(水)【必着】

講演申込方法：

討論会ホームページ (<http://mcm-www.jwu.ac.jp/~hayashih/X44/x44.htm>) にアクセスの上, 発表題目等の必要事項を E メールにて送信して下さい (やむを得ない場合は FAX 送信も可)。講演要旨は, 当日受付で配付いたします (ただし座長には事前に郵送します)。詳細および最新情報は討論会ホームページを御覧ください。

講演申込先・要旨原稿送付先：

〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2

五反田サンハイツ 304号

社団法人日本分析化学会 X 線分析研究懇談会

〔電話：03-3490-3351, FAX：03-3490-3572,〕

E-mail：hm_tanaka@jsac.or.jp

問合せ先：日本女子大学理学部物質生物科学科 林 久史

(電話・FAX：03-5981-3665,

E-mail：hayashih@fc.jwu.ac.jp)

■第49回高圧討論会

主催：日本高圧力学会

日時：2008年11月12日(水)～14日(金)

会場：姫路市姫路商工会議所

(〒670-8505 兵庫県姫路市下寺町43

Tel：079-222-6001)

交通：JR 姫路駅, 山陽電鉄姫路駅 徒歩18分

バス：市バス「日の出車庫行」商工会議所前下車 (5分)

神姫バス「市川台行」「鹿島神社行」「加古川行」

坂田町下車 (5分)

講演募集分野：

高圧力の科学と技術に関する次の分野：

- ①高圧装置・技術 ②固体物性 ③固体反応 ④流体物性 ⑤流体反応 ⑥地球科学 ⑦生物関連 ⑧衝撃圧縮 (ただし④, ⑤, ⑦には溶液, 界面, および食品を含む)

発表形式：口頭発表, ポスター発表

特別企画：

シンポジウム「高圧極限環境下における生体関連科学」

講演申込：

学会ホームページ「高圧討論会」の「講演申込フォーム」からお申し込みください。(なお都合により, 口頭発表からポスターへあるいはポスターから口頭発表への変更および発表分野の変更をお願いすることもあります。)

講演申込締切：7月11日(金)

講演要旨原稿締切：9月20日(土)

(締切日を過ぎた要旨原稿については, 要旨集に掲載できないこともあります。なお, 発表論文については査読をいたします。)

参加登録予約締切：10月10日(金)

参加登録手続き：

日本高圧力学会ホームページ「高圧討論会」の「参加申込フォーム」からお申し込みください。

参加費：

本会, 共催・協賛学協会会員 (4,000円) 非会員 (6,000円)

本会, 共催・協賛学協会学生会員 (2,000円)

非会員学生 (3,000円)

(当日申込の場合は各1,000円増しになります。)

懇親会：11月13日(木)夕刻 一般7,000円, 学生3,000円

要旨集：5,000円

振込先：郵便振替 (01080-7-48066 日本高圧力学会)

銀行振込 (みずほ銀行 出町支店 普通預金口座 1409296)

日本高圧力学会)

申込先：

〒606-8125 京都市左京区一乗寺清水町16

NAKAI ビル 301

日本高圧力学会事務局

Tel & Fax：075-721-0376

E-mail：jimu@highpressure.jp

<http://www.highpressure.jp/>

実行委員会事務局：

〒678-1297 兵庫県赤穂郡上郡町光都 3-2-1

兵庫県立大学 大学院 物質理学研究科

川村春樹 (実行委員長)：

Tel：0791-58-0158 E-mail：kawamura@sci.u-hyogo.ac.jp

■IUMRS アジア国際会議2008

本 IUMRS-ICA 2008は, 材料研究の最先端で活躍する研究者や技術者を世界中から広く募集・招聘し, 横断的研究交流を図

る。さらに、あらゆる材料研究分野に焦点を当て、アジアの材料研究を世界に向けて強く発信する。なお、本会議は40のシンポジウムからなり、全参加者数は1500人以上となる見込みである。

主催：

日本 MRS (Materials Research Society of Japan (MRS-J))

日時：2008年12月9日(火)～12月13日(土)

場所：名古屋市国際会議場（名古屋市熱田区西熱田町1番1号）

発表参加申し込み方法：ホームページをご覧ください。

ホームページ：<http://www.iumrs-ica2008.jp/index.html>

発表申し込み締め切り：2008年6月30日

参加費：ホームページをご覧ください。

連絡先：

Secretariat for IUMRS-ICA2008 Inter Group Corporation
2-38-2, Meieki, Nakamura-ku, Nagoya 450-0002, JAPAN

Phone : +81-52-581-3240 Fax : +81-52-581-5585

E-mail : iumrsica2008@intergroup.co.jp

● 会誌オンライン利用方法に関するご案内

編集委員長 櫻井吉晴

渉外幹事 繁政英治

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックして頂き、会員専用ページにアクセスして頂くことになります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr213

Password : was3Y5ka

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等御座いましたら、繁政 (sigemasa@ims.ac.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、櫻井 (sakurai@spring8.or.jp) までお願いします。